

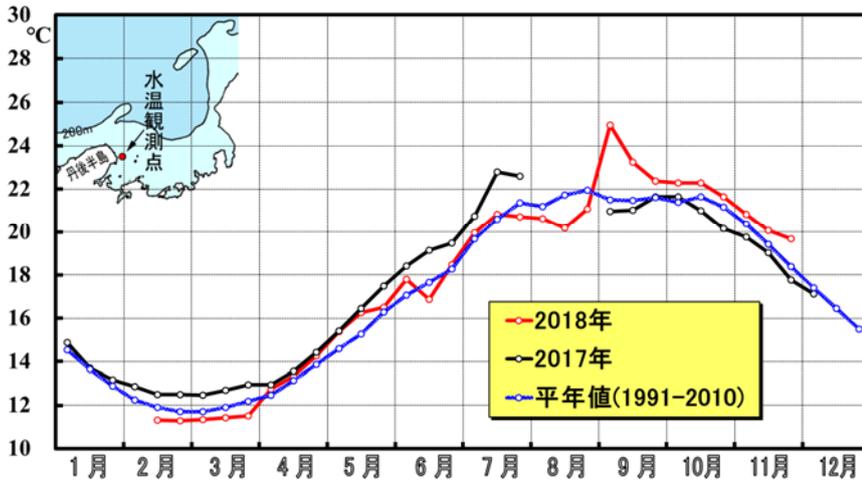
# 京都府漁海況情報

京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

## 海の状況 ～2018 年 1 月から 12 月まで～

表層の水温は、5 月下旬ごろから 8 月下旬ごろまで平年並みで推移しましたが、10 月以降は平年よりかなり高め～やや高めで推移しました。

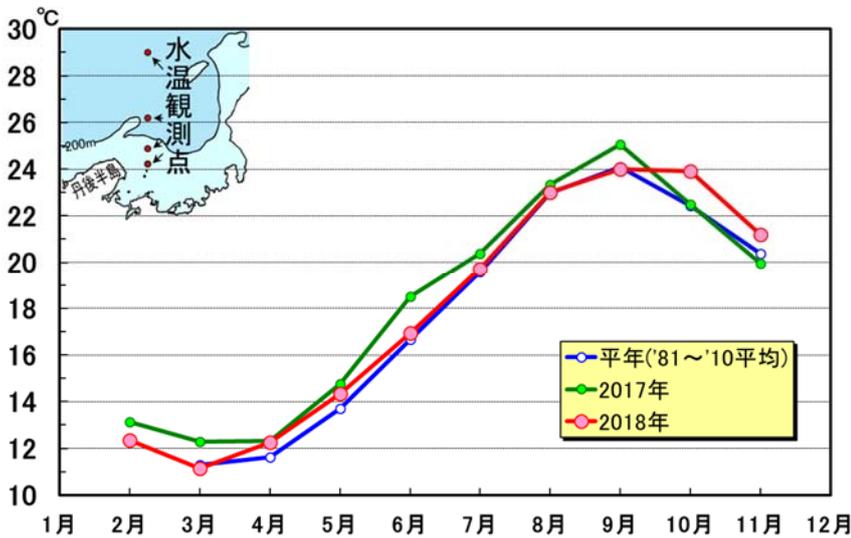
京都府沿岸(伊根町新井崎地先 水深 64m) の水温 (50m 深)



月平均水温と平年差(括弧内)

単位: °C	50m 深
1 月	欠測
2 月	欠測
3 月	11.4 (-0.5)
4 月	13.4 (+0.2)
5 月	15.4 (±0)
6 月	17.8 (+0.1)
7 月	20.5 (+0.1)
8 月	20.6(-1.0)
9 月	23.5 (+2.0)
10 月	22.1 (+0.7)
11 月	20.4 (+1.0)
12 月	観測中

京都府沖合の表層水温(0～50m 深平均)



各月水温と平年差

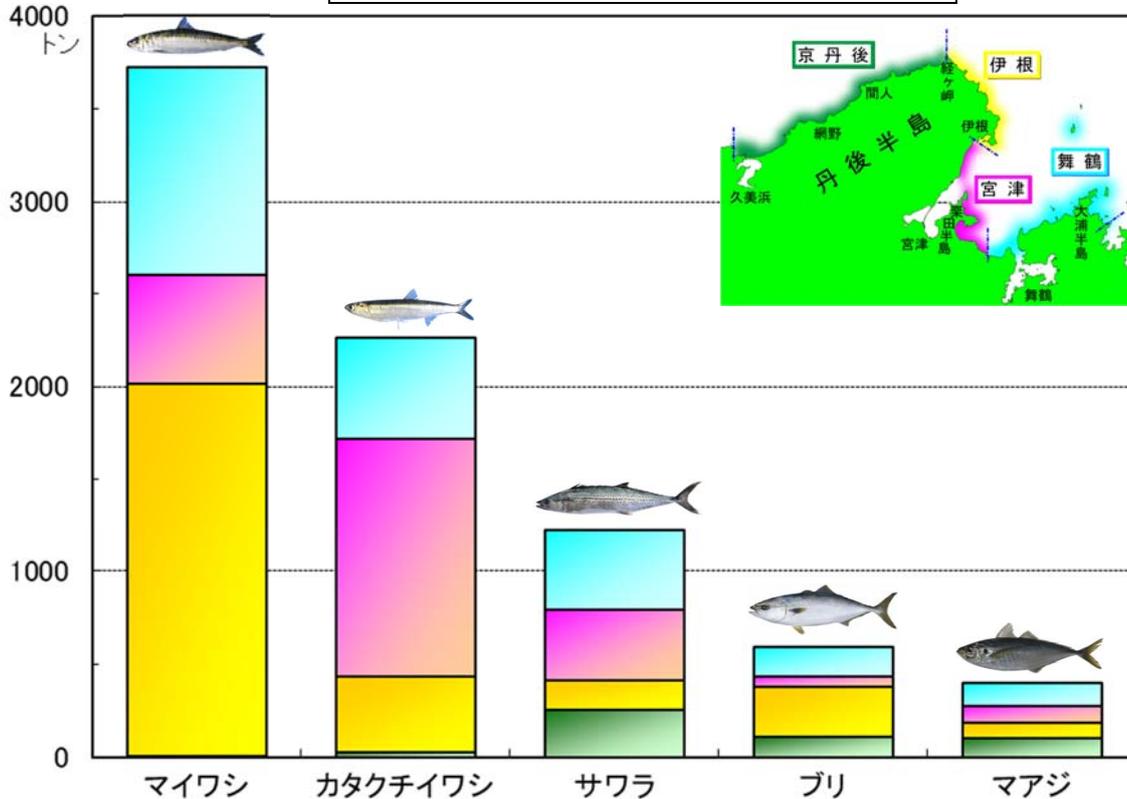
単位: °C	水温	平年差	評定
1 月			観測なし
2 月	12.3		データ過少につき評定なし
3 月	11.1	-0.3	平年並み
4 月	12.2	+0.6	やや高め
5 月	14.3	+0.7	やや高め
6 月	17.0	+0.1	平年並み
7 月	19.7	-0.2	平年並み
8 月	23.0	±0	平年並み
9 月	24.0	-0.1	平年並み
10 月	23.9	+1.5	かなり高め
11 月	21.2	+0.8	やや高め
12 月			観測なし

# 漁模様 ～2018年1月から12月まで～

## 【定置網漁業】

マイワシが好漁でした。一方、サワラ、ブリ、マアジが例年より不漁でした。全体の漁獲量は平年の1.1倍（前年の1.4倍）でした。

2018年の地域別漁獲量(上位5魚種)



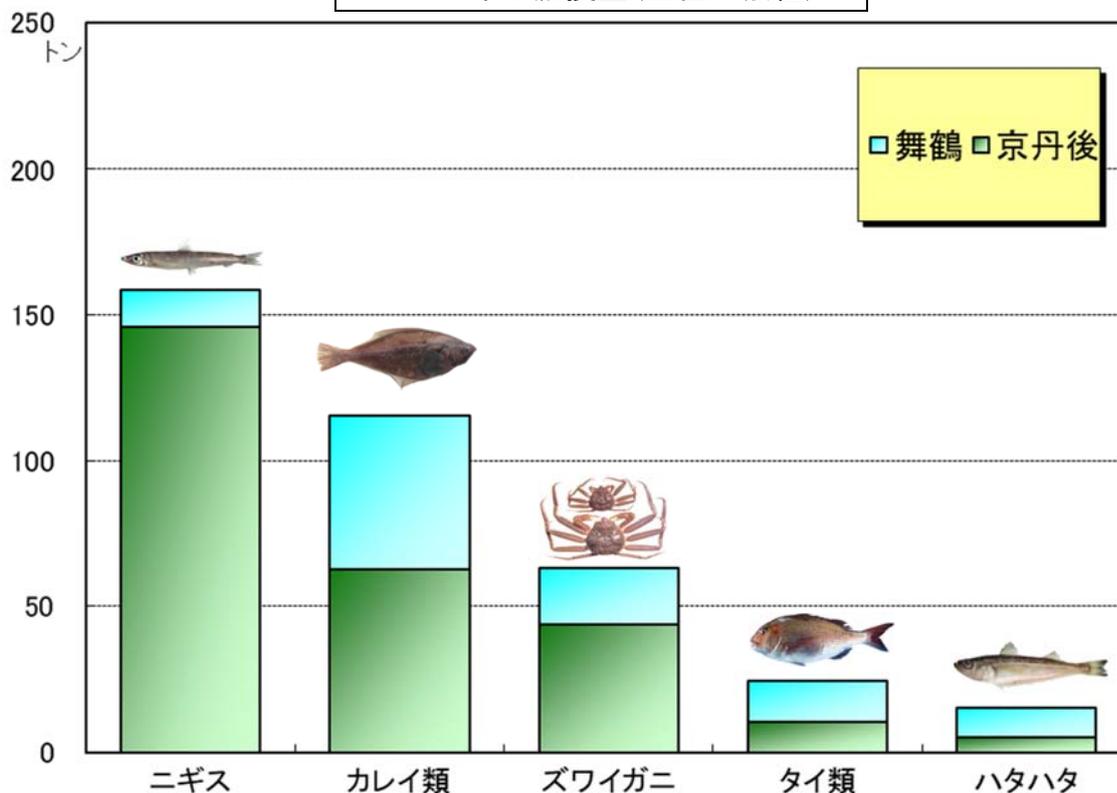
年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
マイワシ	3722.3	3.5 (106657%)	180.9 (2057%)	<サワラ>
カタクチイワシ	2261.7	2533.3 (89%)	2339.6 (97%)	<サワラ銘柄別>
サワラ	1219.3	1338.8 (91%)	1632.3 (75%)	さわら大: 82トン
ブリ	592.1	853.5 (69%)	1259.9 (47%)	さわら: 96トン
マアジ	402.7	568.5 (71%)	1122.2 (36%)	さごし: 734トン
イカ類	294.4	248.2 (119%)	356.8 (83%)	やなぎ: 307トン
シイラ	200.2	211.7 (95%)	223.3 (90%)	<ブリ銘柄別>
トビウオ類	145.6	156.7 (93%)	179.1 (81%)	ぶり: 121トン
サバ類	123.2	142.5 (86%)	217.0 (57%)	まるご: 42トン
スズキ	109.3	183.1 (60%)	141.0 (78%)	はまち: 40トン
その他	775.3	1032.1 (75%)	1504.0 (52%)	つばす: 389トン
合計	9846.1	7272.0 (135%)	9156.1 (108%)	<イカ類>

平年は過去10年平均

## 【底曳網漁業】

ニギスが平年の1.4倍（前年の9割弱）、タイ類が平年の1.6倍（前年の1.6倍）と好漁でした。一方、カレイ類が平年比6割（前年並み）、ハタハタが平年比1割強（前年の5割）と少漁でした。全体では、平年の9割弱（前年の1.1倍）の水揚げでした。

2018年の漁獲量(上位5魚種)



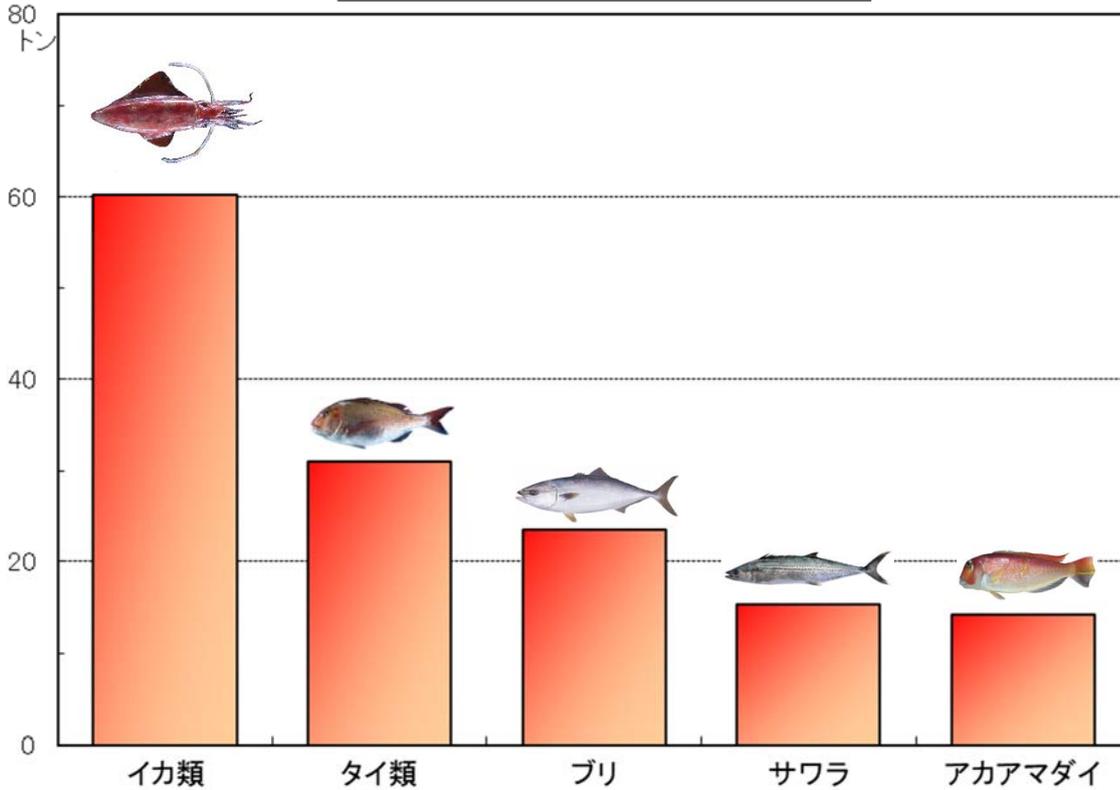
年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
ニギス(沖きす)	158.2	184.3 (86%)	113.7 (139%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい): 76トン ソウハチ(えてがれい): 19トン ヒレグロ(黒かれい): 12トン ムシガレイ(みずがれい): 4トン ヤナギムシガレイ(ささがれい): 3トン
カレイ類	115.5	118.8 (97%)	191.4 (60%)	
ズワイガニ	62.9	63.4 (99%)	76.3 (82%)	
タイ類	24.4	15.8 (155%)	15.0 (163%)	
ハタハタ	15.0	29.9 (50%)	105.6 (14%)	
イカ類	7.8	4.6 (172%)	8.0 (98%)	<ズワイガニ> オス(間人がに・舞鶴かに): 39トン メス(せこがに): 24トン
エビ類	7.0	8.4 (84%)	7.7 (91%)	
アンコウ類	6.3	9.2 (68%)	19.1 (33%)	
タラ類	5.6	4.6 (123%)	4.9 (115%)	
タコ類	4.2	5.5 (77%)	9.8 (43%)	
その他	43.9	41.6 (106%)	49.6 (89%)	
合計	451.0	486.0 (93%)	601.0 (75%)	

平年は過去10年平均

## 【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚げ量は、平年の6割強（前年の8割強）と不漁でした。

2018年の漁獲量(上位5魚種)



年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	60.3	42.1 (143%)	77.7 (78%)	<イカ類> ソデイカ(たるいか): 38トン ケンサキイカ(白いか): 11トン スルメイカ: 10トン アオリイカ(秋いか): 2トン
タイ類	31.0	31.3 (99%)	35.3 (88%)	<タイ類> マダイ: 20トン キダイ(連子鯛): 11トン
ブリ	23.4	69.8 (34%)	68.1 (34%)	<ブリ銘柄別> ぶり: 5トン
サワラ	15.4	8.2 (188%)	23.7 (65%)	<サワラ銘柄別> まるご: 14トン はまち: 1トン つばす: 4トン
アカアマダイ(ぐじ)	14.3	20.9 (69%)	22.4 (64%)	<サワラ銘柄別> さごし: 14トン さわら: 1トン
メバル類	11.8	14.2 (83%)	14.8 (80%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	5.9	8.7 (67%)	8.0 (73%)	
ヒラマサ	1.4	2.4 (58%)	1.3 (107%)	
メジナ	1.3	0.9 (144%)	0.9 (144%)	
カレイ類	0.9	1.3 (69%)	1.3 (67%)	
その他	10.8	17.3 (63%)	28.7 (38%)	
合計	176.6	217.1 (81%)	282.2 (63%)	

平年は過去10年平均

## 【2018年の特異的なできごと】

冬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタクチイワシが定置網でまとまる (1~2月に平年比2.2倍の473トン)。</li> <li>・マイワシが定置網でまとまる。 (2~4月で3706トン。年間1000トン越えは1996年以来)</li> </ul>
夏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月に京丹後市でカツオノエボシが複数発見される。</li> </ul>
秋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急潮情報の発出回数が、運用開始以来最多となる。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブリ全体（およびそのうちのつばす銘柄）の漁獲量は、2003年以来最低であった。</li> <li>・サワラの漁獲量は、2006年以来最低であった。</li> <li>・アカムツの漁獲量は、1990年以降最高の7トン(過去10年比1.9倍)であった。</li> <li>・ハタハタの漁獲量は、1990年以降最低の15トン(過去10年比14%)であった。</li> </ul>

## 【2018年に見かけた生き物】

### ヤツデスナヒトデ

写真の個体は直径約40cm  
3/28 宮津市の漁業者から提供



### リュウグウノツカイ

写真の個体は5m以上  
1/11 宮津市定置網に入網



魚っ知館のタッチングプールで展示されるリュウグウノツカイ

見慣れない海の生き物を発見された場合には、当所までご一報いただくと幸いです。